

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

浜松市リハビリテーション病院では、当院の倫理委員会の承認を得て、以下の医学系研究を実施しております。研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象と方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究番号	20-52
研究課題名	頰杖位が咽頭期嚥下の食塊通過に与える影響についての後ろ向き介入研究
研究責任者	黒川 雅史 所属 リハビリテーション科
研究実施体制	浜松市リハビリテーション病院
研究期間	2021年3月22日 ~ 2024年3月21日
対象者	・ 頸部正中位で梨状陥凹に残留あり(残留は健側・患側を問わない) ・ 認知症, 高次脳機能障害を認めない(MMSE 18/30点以上)
研究の目的	頰杖位が咽頭期嚥下の食塊通過に与える影響について、主観的・客観的に評価する。
研究の方法	対象者のデータを後ろ向きに介入し、主観的・客観的評価を行う。また残留量を正中位、回旋位、頰杖位で測定し、有意な差が生じるかを検証する。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは直接ご本人を特定できる個人情報削除した上で、学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	浜松市リハビリテーション病院 医師 黒川 雅史 TEL 053-471-8331(代表) 9:00~17:00 平日

